

(別紙)

被告製品が用いられる通信システム方法の構成の特徴

- 4 a ダウンリンクにおいて直交周波数分割多重アクセス (OFDMA) を採用している LTE 規格通信システムのダウンリンクにおけるサブキャリア選択の方法である。
- 4 b システム帯域にある複数のサブキャリアを、12個のサブキャリアからなるリソース・ブロックの複数個で構成されるN個のサブバンドに分割する段階を有する。
- 4 c (その1) 基地局は、非周期的なCQIレポートである高次階層設定サブバンドフィードバックモード (モード3-0又はモード3-1) において、各サブバンドの品質に関する情報として、ユーザ端末から、ワイドバンドCQI及び前記N個全てのサブバンドについて、各サブバンドのCQIとワイドバンドCQIとの差分に対応づけられたN個の差分CQIを受信する段階を有する。
- 4 c (その2) 基地局は、非周期的なCQIレポートである高次階層設定サブバンドフィードバックモード (モード3-0又はモード3-1) において、各サブバンドの品質に関する情報として、ユーザ端末から、ワイドバンドCQI及び前記N個全てのサブバンドについて、各サブバンドのCQIとワイドバンドCQIとの差分に対応づけられたN個の差分CQIを受信するところ、通信に適するサブバンドには差分CQIとして0、1及び2の3種類のインデックスを付したものを受信する段階を有する。
- 4 d 非周期的なCQIレポートである高次階層設定サブバンドフィードバックモード (モード3-0又はモード3-1) において、各サブバンドの品質に関する情報として、ユーザ端末から、ワイドバンドCQI及び各サブバンドのCQIとワイドバンドCQIとの差分に対応づけられた0、1、2又は3の4種類のいずれかを示すインデックスであるN個全て

の差分CQIを受信する段階を有する

- 4 e サブバンドCQIは、ワイドバンドCQIとの関係で差分的に符号化され、畳み込み符号によって誤り訂正符号化される段階を有する。
- 4 f 基地局は、ユーザ端末が選択した複数のサブバンドを構成する1つ又は複数のリソース・ブロックを、ユーザ端末との通信に使用するために割り当てる段階を有する、ことを特徴とする方法。

(別紙)

被告製品の構成の特徴

- 9 a (その1) 非周期的なCQIレポートである高次階層設定サブバンドフィードバックモード(モード3-0又はモード3-1)において、全N個の各サブバンドの品質に関する情報として、ユーザ端末から、ワイドバンドCQI及び前記N個全てのサブバンドについて、各サブバンドのCQIとワイドバンドCQIとの差分に対応づけられたN個の差分CQIを受信するリソース・ブロック割り当て制御装置を備える。
- 9 a (その2) 基地局は、非周期的なCQIレポートである高次階層設定サブバンドフィードバックモード(モード3-0又はモード3-1)において、各サブバンドの品質に関する情報として、ユーザ端末から、ワイドバンドCQI及び前記N個全てのサブバンドについて、各サブバンドのCQIとワイドバンドCQIとの差分に対応づけられたN個の差分CQIを受信するところ、通信に適するサブバンドには差分CQIとして0、1及び2の3種類のインデックスを付したものを受信するリソース・ブロック割り当て制御装置を備える。
- 9 b 非周期的なCQIレポートである高次階層設定サブバンドフィードバックモード(モード3-0又はモード3-1)において、各サブバンドの品質に関する情報として、ユーザ端末から、ワイドバンドCQI及び各サブバンドのCQIとワイドバンドCQIとの差分に対応づけられた0、1、2又は3の4種類のいずれかを示すインデックスであるN個全ての差分CQIを受信する段階を有する
- 9 c 基地局はリソース・ブロックの割り当て制御機能を有する装置を備える。
- 9 d サブバンドCQIは、ワイドバンドCQIとの関係で差分的に符号化され、テイルバイティング畳み込み符号によって誤り訂正符号化されている。
- 9 e 基地局は、ユーザ端末が選択した1つ又は複数のサブバンドを構成す

る1つ又は複数のリソース・ブロックを、ユーザ端末との通信に使用するために割り当てるリソース・ブロックの割り制御機能を有する装置を備える。

9 f ユーザ端末との通信に使用するために割り当てるリソース・ブロックの割り制御機能を有する装置に接続され、基地局がユーザ端末に割り当てた1つ又は複数のサブバンドを構成する1つ又は複数のリソース・ブロックを、下り制御情報(DC I)としてユーザ端末に伝送する。

9 g ダウンリンクにおいて直交周波数多重アクセス(OFDMA)を利用する無線送受信装置と、
を有する基地局装置。